

2019年9月3日

「切除可能非小細胞肺癌 II-III A 期における血漿検体を用いた
可溶性免疫因子のバイオマーカー研究」

1. 研究の対象

WJOG4107: 非小細胞肺癌術後アジュバント治療における TS-1 vs CDDP+TS-1 の
無作為化第 II 相臨床試験: 化学療法効果予測因子の探索研究に参加された方で、
余剰血漿検体もしくは保存血漿検体を使用可能な患者さん

2. 研究目的・方法

「目的」 「WJOG4107: 非小細胞肺癌術後アジュバント治療における TS-1 vs
CDDP+TS-1 の無作為化第 II 相臨床試験: 化学療法効果予測因子の探索
研究」における残余血漿検体または保存血漿検体を用いて可溶性免疫因
子を測定し、測定値の分布や臨床データとの関連を評価する

「方法」 「WJOG4107: 非小細胞肺癌術後アジュバント治療における TS-1 vs
CDDP+TS-1 の無作為化第 II 相臨床試験: 化学療法効果予測因子の探索
研究」にご参加いただいた時に患者さんより得た情報について解析を行う

「研究期間」 承認後 ~ 2022年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、検査結果 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範
囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。ま
た、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代
理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先ま
でお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56 電話 06-6692-1201(代)

大阪急性期・総合医療センター呼吸器内科

研究責任者: 主任部長 上野 清伸